

様式 1 (第 6 条関係)

## 報 告 書

( 芦 谷 班 )

開 催 日 時	平成 2 7 年 1 0 月 1 4 日 (水) 1 9 時 ~ 2 0 時 4 0 分	
開 催 場 所	三隅公民館	
出 席 議 員	司会者	芦谷英夫
	報告者	各班から (4 班 4 人)
	記録者	串崎利幸・森谷公昭・西田清久・足立 豪・ 江角敏和
	挨拶	渋谷幹雄
参 加 人 数	3 8 人	
主 な 要 望 ・ 提 言 等	詳細については別紙のとおり	

浜田市議会議長 原 田 義 則 様

平成 2 7 年 1 0 月 2 6 日

浜田市議会報告会規程第 9 条第 1 項の規定により提出します。

芦 谷 班

代表者 芦 谷 英 夫

## 地域井戸端会 in 三隅公民館 (西田清久グループ意見まとめ)

### 施設

- ・子どもの遊び場所（空き地など）がない。遊園地が欲しい。
- ・スキーがしたい。マリンレジャーがしたい。映画館が欲しい。
- ・昼食食べる場所が少ない。近くに飲み屋など気軽に集う場所が無い。Caféが無い。
- ・若者が集う場が無い。三保三隅駅のトイレが酷い。

### 仕事、給与

- ・若者に魅力ある仕事が少ない。仕事の選択が少ない。
- ・地区に若者がいない。労働力の不足。農業だけで生活できない。給料が安い。

### 趣味

- ・神楽が取り持つ縁がある。神楽が生活の一部になっている。神楽の存在が大きい。
- ・魚釣りなどのんびりする時間がある。

### 交流

- ・異世代、同世代の意見交換の場がなくなった。若者が好きなイベントが少ない。
- ・やってみたいことがなかなか見つけられない。仲間づくりが出来る場、情報が無い。
- ・若者が地域とのつながりを持っていない。若い人の出番があまりない。
- ・若い人に企画から実践まで任せてみることも必要ではないか。
- ・野球、ソフトなど、若い人同士が親睦を深めることが出来るようなチームが激減した。
- ・ツツジや桜のまちだからもっと活かすべき。

### 交通道路事情

- ・若い人は、公共交通の利用が少ない。交通費が高い。
- ・車が無いと生活が大変。道路事情が悪い。

### スローライフ田舎の魅力

- ・都会では、自己の存在感がうすいという感情を持った。
- ・長男でいずれ田舎に帰るなら、大学卒業時に帰ろうと思った。
- ・何が本当の住みやすさなのか？便利さなのか？お金以外の魅力は？
- ・都会には慣れないので、若い人の住みやすい田舎を徹底的に目指そうという方針も必要。
- ・高齢者が口うるさく、若い人があまりものを言わない。(上意下達的発言や説教はダメ。)

### 生活

- ・物価が高い（ガス、水道、電気など）。
- ・田舎のわりに家賃が高い。
- ・駅前がさみしい。夜が暗くて恐ろしい。
- ・景観が悪くなっている。のんびり暮らしたい。

### その他

- ・島根県とも協力して定住支援を！
- ・子育て世代への支援の拡大を！
- ・ふるさとが好きになるような家庭教育を！（広い意味での社会教育を）
- ・友人の多くがUターン

下記のテーマについて話し合いたいと思います。  
みなさまお誘い合わせの上、ぜひお越しください。

## 若者が住みやすいまちにするには？

○ サブテーマ

- ・若者の顔が見えますか、声が聞こえますか
- ・若い人の出番を作ろう
- ・みんなで考えよう！何が必要か？何が弊害か？

浜田市議会事務局  
☎(0855)25-9800

浜田市議会 地域井戸端会

開催日 10月14日(水)  
時間 19時～20時30分  
場所 三隅公民館  
担当議員 芦谷英夫、江角敏和、西田滯久、足立 豪、串崎利行、森谷公昭

三隅での井戸端会のやり方は、一つのテーブルで、3つの話題をまとめて議論する方法でした。

まとめは、それぞれの一番下に、※でかきました。

## 子育て

子育ての環境が悪い

出産祝い金

子育て生活支援はお金ではなく制度が良い

親が子供を連れて行き、親同士が話せる公園を作る

この辺りは、奨学金の種類が少なく、学費も安くないし、

ここで勉強する意思決定がしにくい

※おそらく出産、6歳まで、18歳からのことについての意見です。

※出産等の子供に関する特別支出の負担、

※親が働ける環境、保育園、居残り場

※他県・他国からリハカラレに入学する生徒への支援

## 住まい・暮らし・仕事

空き家を提供して

若者の住む家が少ない

市営、県営住宅を作る

住める場所が少ない

家を建てる助成

三隅川他ライフラインが充実していない、暮らしが困難

東京や大阪より物価が高く、給料が安いので住みにくい

仕事があるが希望に沿わない、町外で仕事に就くことになる

大学を卒業しても仕事がないので、帰る子供が少ない

結婚しても不安が多い

※安い住宅、

※安いスーパー、

※企業・職場

## 交通・インフラ

近い空港は国内線が少なく外国へも行けない

便数が多くなったらここに住んでも良いよという声があるかも

交通の便が悪いので学生が住むのが難しい

学生は車がないと買い物が不便

バスは1時間1本、遅くなったら電車もバスもない

交通が悪い

交通の便が悪く、車がないと生活できない

車の免許が必要

ひゃこるバスもいいが、もう少し交通の便が良くなるとよい

交通の便が悪い

車がないと生活できない

インターネットが不便

※遠方の方は飛行機の便（国内外）

※日常は車がないと生活できない

※バスは今一、ネット環境も悪い

## 役割・そのための世代間交流

地域の行事に若い人の意見を取り入れる努力をしよう

経験者が世代交代のため若者との話をする

積年者はもっと若い人の意見を聞く努力が必要

若い人が参加しやすいまちづくりが必要

同じ顔ぶれが役を持ちすぎて負担が多い

出番を作る

世代にはそれぞれ役割がある、

祭り等に役割を

地域づくりを若者と一緒に考える

地域役員の任期を考える(若い人を役員に入れる)

地域の方が偏らないで声を掛け合い少しでも出番を与える

高齢者は地域でもっと楽しい生活を送り次の世代に教えていく

※役がかぶる、議題もかぶる、整理が必要

※世代間の会話の機会がない、年配者は若者の意見を聞く気持ちがいっぱい

※出番を若者に(出番のメリット感は?)

## 場所・集まる・楽しむ

若者と地域民と一緒に集まって飲食をしながら話し合える場所がほしい

世代でなんか一つのことを一緒に作り上げる

結婚式等を近くでやる場所がない

若者が集まる場や話し場がない

若者が好むことを考えてイベントの内容を考える

子供向けのイベントを増やして

自然が多いので自然を生かしたイベントに取り組んでみたら

自由に選べて買い物ができるお店がない

遊び場、どんな場所がほしいのか

食べたいものが食べられるお店がない

遊ぶ、飲める、食べる場所が少ない

※世代間が話すための場所（飲食）

※子供イベント、若者イベント

※買い物、遊ぶ、食べる、飲める場所

## 番外編

若者がこの地域をどう考えているか知りたい

企業力が弱い

---

---

「若者が住みやすいまちにするには」というテーマを横断的にまとめた。

---

### 子育て

※おそらく出産、6歳まで、18歳からのことについての意見です。

※出産等の子供に関する特別支出の負担、

※親が働ける環境、保育園、居残り場

※他県・他国からリハカレレに入学する生徒への支援

ということで、両親と同居しない家庭がほとんどで、同居の家庭も親の生活は、子供や孫中心ではないため、子供を預けることができるとは限らない。

出産、育児等12歳までは、親が働いていても安心できる環境が必要ではないか？「育児を相談できるみんなのおばあちゃん」が制度としてあれば安心です。

スエーデンかノルウェーかにはあるそうです。

### 住まい・暮らし・仕事

結婚しても不安が多い

※安い住宅、※安いスーパー、※企業・職場

根本的なところですが、給料がそこそこの企業があると問題は解決するのですが、それがない以上、住まいも物価も安くないと生活が苦しくなる。結婚も当然不安。

だから、賭けてでも都会に行かざるを得ない。

### 交通・インフラ

※遠方の方は飛行機の便（国内外）日常は車がないと生活できない

※バスは今一、ネット環境も悪い

住まいの近くには、いろいろなものがない以上車がないと生活が成り立たない。

金のない学生も同じこと、学生も集まらない理由に違いない。

学生にバイク、車をレンタルして、日ごろの足のない人のボランティアになってもらってもいいのでは？

### 役割・そのための世代間交流

※役がかぶる、議題もかぶる、整理が必要

※世代間の会話の機会がない、年配者は若者の意見を聞く気持ちがいっぱい ※出番を若者に（出番のメリット感は？）

年配者は若者の意見や考えを聞きたいというように変わってきた（昔は押しつけ）、しかし、若者は役をやることの楽しさや義務感を感じ

ていないのではないかと？それなら、「若者の住みやすいまち」ではなく、やりたくない役をやらざるを得ない「住みにくいまち」になる可能性もある。

年配者さえも役を避けたがっているなかで、若者に譲ろう、頑張ってもらおうというのは虫がいいのではないかと？

祭りがあったほうがいい、という前提で若者の話を聞くのでは、聞いているうちに入らないことを認識すべきである。

### **場所・集まる・楽しむ**

※世代間が話すための場所（飲食）※子供イベント、若者イベント

※買い物、遊ぶ、食べる、飲める場所

若者間、同世代間、老若間、違世代間で集まれる場所が必要。

できれば飲食できるところ。

違世代間の情報を提供することにより行事への関心も高まるし

終わった後に「知っていたら出れた」ということもなくなる。

一人で閉じこもらず、子供連れてでも気軽に行ける場所で交流できれば住みやすい、暮らしやすい、楽しいと感じれるのではないかと？

### **番外編**

若者がこの地域をどう考えているか知りたい

企業力が弱い